

第3回地区説明会

「統合と時期」

「統合と時期」		
中学校区	質問	市の見解
小系中学校区	中山間地域、小系・小櫃地域から先にとということだが、自分は統合に賛成である。平成32年度まで待たずに実現してほしい。	子どもたちにとってよりよい教育環境を早く整えたいと考えております。しかし、教育活動を充実させるため、統合までの準備はある程度の時間が必要であると考えております。
清和中学校区	小系・清和中学校の統合までの期間が短い。	複式学級の解消など、対応が急がれる状況もあります。子どもたちにとってよりよい教育環境を可能な限り早く整えたいと考えております。
清和中学校区	統合（小系・清和）まで考えることもいろいろある。統合年度は遅らせることがよい。	
清和中学校区	複式解消のために早くしなければいけないとのことだが、早すぎるが故に理解が深まっていない。	
清和中学校区	小規模校は大変だけど、自分たちがやらなければという気持ちを育てられる。秋元、三島小学校の統合は賛成だが、清和中学校が小系と統合するのは反対。	学校教育においては、一定規模の集団の中で、学び合い、協力し合い、切磋琢磨できることが必要だと考えます。今回のプログラム案は、子どもの発達段階を考慮したものとしました。
清和中学校区	清和では地域に学校を残してほしいという意見が多かったと思うが、この案では中学校が出て行ってしまう。意見が反映されていない。	前回のパブリックコメントの意見は、清和地区から多くの意見をいただき、小中一貫の要望もありました。
清和中学校区	小系中清和中の統合について、学校が残る小系となくなる清和とでは受け止め方が違うと思う。市街地の学校と同じ規模にする必要はないと思う。特例を認めてほしい。	複式を解消すること、子どもの発達段階及び地域に配慮し、清和地区に小学校を残す方向性といたしました。
小櫃中学校区	再編には賛成できない。大規模にすることで多様性がなくなる。個性を大切にしないといけない。これは撤回しなくてはならない。お金のために統合を進めているのか？予算を削るものがあるはず。大規模化や統合は、逆行している。子どもたちのことを第一に考えてほしい。	今回の案では、大規模化を図っているものではなく、クラス替えができる程度の規模として、本市の基準に沿ったものとなっています。個性や多様性はとても大切だと考えており、一定の集団の中で、互いに個性を認め、多様性を認めることが、学校教育において必要だと考えます。再編は財政的な理由で行うものではありません。教育環境の充実を図るもので、必要などるに予算措置する考えです。

小櫃中学校区	教育委員会の案に賛成。子どもが増えれば、学校が増える。減ればそのときに応じて学校も変わらなくてはならない。子どもたちはいずれ大きな集団に出て行かなくてはならない。その力を付けることが学校教育には必要。大きな集団でもまれて体験することが、生きる力を育てることになる。	子どもたちにとってよりよい教育環境を目指し、学校の活性化を推進したいと考えております。 統合の際には、これまで各学校、地域の中で作り上げてきた文化を継承しながら、新たな学校を作り上げていきたいと考えております。
小櫃中学校区	適正規模に賛成。単学級だと人間関係が難しい。それなりの人数が必要。	
小櫃中学校区	統合に賛成である。今、久留里や松丘、亀山など、隣の地域であるのにお互いの文化を知らないの、校外活動でそれぞれの地域を訪ね、文化や伝統を共有し、継承していくという考えがあってもよいと思う。統合前の子どもたちが、もっと早く統合してくれていればよかったのに、と思えるような統合をお願いしたい。	
小糸中学校区	統合に賛成。自分の子どもは、学校へ行けない時期があった。少人数のクラスで、自分に合った友達を見つけられず、大人数であったり、クラス替えができたりしたらよいのに、と思っていた。多様な子がいる、その中で育ってほしい。やはり10名以下になると差し迫った問題になる。統合を積極的に進めて。	
小糸中学校区	学校の活性化という面で、大賛成である。新しい学校を造ることは、非常に効果的であると、自身の経験から確信している。八重原中開校の際の経験だが、皆が一体となって力を合わせ、校章から制服など色々なことを考えた。自分たちの学校という気持ちが芽生え、ひとつにまとまっていき、非常に心に残っているものである。	
亀山中学校区	賛成意見が多数あることも承知してほしい。卒業した子が羨ましがらうような学校づくりをしてほしい。	
亀山中学校区	市原の加茂学園視察の際、小学生が活発に英語を学んでいたのが印象的。子どもたちは環境適応能力があり、それほど心配いらぬ。中学4校が統合するとクラス替えができ、部活も多様になり、人間形成に重要と考える。	
亀山中学校区	統合は理解できるが、小櫃は遠い。松丘と亀山で小中一貫教育ができるのではないかと。少子化を理由にせず、よそから人を引っ張ってくることを考えるべき。	
亀山中学校区	学校の場所は別にして、小櫃中も含めた4中学校が統合対象になったことは評価する。小櫃小も一緒になるともっと良いと思う。なぜ、小櫃小は一緒にならないのか。	
松丘中学校区	松丘地域へ学校を残したい。	
小櫃中学校区	上総・小櫃を分けて考える案もあった。今後禍根を残さないためには、時間をかけて話し合ってから動き出すことが大切。なぜ急ぐのか。亀山・松丘地区に学校がなくなれば疲弊が加速し、若い親が住まない。スクールバスを出しても、学校からの遠近によって、部活動の活動時間や急病時の対応に差が生じるなど、色々な問題がある。地域の意見を聞き、ある程度問題を解決してから、再編を進めてほしい。	適正規模・適正配置を目指しており、子どもの数が減っている中、教育の質をどう確保するかを考えています。また、教育を充実させることは、子育て世代が定住するためにも必要な条件だと考えております。 複式を解消し、子どもの発達段階及び地域に配慮し、上総地区に小学校を残す方向性となりました。 通学については課題もありますが、運用を工夫することで、対応していきます。
久留里中学校区	通学距離の差が出すぎるため公平性に欠けるのではないかと。小規模校を残して欲しい。	

通学・スクールバス

中学校区	質問	市の見解
複数中学校区	スクールバスでは、部活時間、有事の際に保護者の負担が増えるのでは。また、タクシー券を利用するなどでも対応しきれないケースも出てくるのではないかな。	スクールバスについて、先進事例では、学校に予備車両を待機させておくことやタクシー券を用意するなど有事に対応できる対策をとっています。
久留里中学校区	現在、子どもがスクールバスを利用しているが、夏休みや土日は便がない。学校行事に平等に参加できるようにしてもらいたい。	部活動を含めた教育活動については、バスの運用方法を工夫するなどして、児童生徒の活動が充実するように取り組んでいきたいと考えております。
清和中学校区	コミュニティバスの活用は。	関係部局、地域の方と協議してまいります。
松丘中学校区	中学校の通学時間は生徒によってかなりの差がある。	通学時間の差は、現時点でも存在しており、やむを得ないと考えますが、バスの台数等について配慮し直通便をつくる等、通学時間短縮に向け運用を工夫していきたいと考えます。
亀山中学校区	中学生の部活があると、バスがあっても朝早く帰りが遅い。残りの時間でやるべきことができない。	
松丘中学校区	学校の位置は、通学距離や緊急時の対応の観点から重要であると考えます。また、三島・秋元地区の小学校は同じ中学校へ通うため統合しやすいと思うが、松丘地区の場合の子どもへの負担はどうか？	
亀山中学校区	通学距離が長くないか、計画に小学4km、中学6kmとある。	適正規模を第1に考え、複式の解消、地域性にも配慮いたしました。 文部科学省からの手引きにも、小学校4km、中学校6km以内という基準を超える場合には、スクールバスなどを導入し、通学時間は「おおむね1時間以内」という目安が示されております。 今回の統合において基準の距離を越える場合は、スクールバスを準備します。
清和中学校区	スクールバスの費用はどのようになるのか。	なるべく負担をかけないようにしたいと考えており、統合準備室で皆さんと考えてまいります。
清和中学校区	スクールバスの対象とならない子どもは乗せないのか。	原則は通学距離によるものとなりますが、統合準備室にて検討してまいります。
小糸中学校区	スクールバスと運動不足についてもデータ検証があるはず。通学時間が子どもに与える影響はどうか。	先進地においても、スクールバスと運動不足の関係について細かい分析はできていないようです。
小櫃中学校区	学校再編には賛成。通学手段について意見がある。小櫃地区では、自治会有志による「久留里線を促進する会」が、地域の活性化に向けて動いてきた。久留里線プロジェクトも大学、地域の高校、君津市が核となり進めている経緯もある。子どもの安全にはスクールバスの方がよいが、地域全体で総合的に考える必要があると思う。久留里線を盛り上げ、地域活性化につなげることも考えていただきたい。	通学手段として久留里線の利用を検討するにあたり、児童生徒の住所をもとに調査いたしましたが、駅の近くに住んでいる子どもは限定的です。帰宅時間もまちまちで、電車の時間が大きく開いている時間帯もあります。そのため、通学手段としての利用は難しいものと考えております。 しかしながら、地域の活性化に資するため、JRの活用についても地域の方と一緒に考えてまいります。
松丘中学校区	通学路の安全確保が必要である。	子どもの安全が第一であり、道路、防災等関係機関と連携し、全庁的に進めてまいります。
亀山中学校区	バス通学となると、大戸見トンネルの接続が悪い。	

設置場所		
中学校区	質問	市の見解
小系中学校区	統合には賛成である。中小と小系小の統合は、防災面、バスの進入などから小系小がよい。	教室数、バスの進入など総合的に勘案し中小がよいと考えました。 小学校は発達段階を考慮し、地区にひとつ残す考えです。今回の基本計画の中で、さらなる統合は考えておりません。
小系中学校区	中小と小系小の統合は仕方ないと思うが、将来的に清和地区の小学校との統合も見据えて、立地条件がよい小系小を使用したほうがよいと思う。	
亀山中学校区	統合には賛成で、早急に統合してほしいが、小学校は久留里中校舎、中学校は小櫃中校舎とした理由は。	新校舎の建設については、基本計画にあるように、耐震化を実施してきた校舎の有効活用を前提としており、校舎の建設は考えておりません。 使用校舎については、在學生徒数やスクールバスのアクセスの良さ、施設の状況等を総合的に判断したものです。 小学校については、校舎の大規模改修が済み、学童保育等から、中学校については、高校が近く学習など連携が期待できること等の理由です。
久留里中学校区	上総地区は統合により使用校舎は小櫃中学校としているが、通学時間の平準化のため中間地点に学校を新設できないか？	
久留里中学校区	小櫃地域以外ではスクールバスの負担が多い。中間地点に学校があって欲しい。これから考える余地は？	
松丘中学校区	使用校舎は久留里中を利用するのではなく、亀山中学校はどうか。過疎地域の活性化にもなる。	
久留里中学校区	小学校には、教育活動や教員配置の面からもある程度の規模が必要である。また、休み時間の過ごし方が重要であると考えているが、久留里中学校は、校舎とグラウンドが離れているため、久留里小学校を使用校舎とした方がよいと思う。安全管理面からも職員室からグラウンド全体を見渡せた方がよい。	
久留里中学校区		

子どものケア

中学校区	質問	市の見解
八重原中学校区	以前に学校の統合を経験したことから、統合前の学校の教員が多く来てくれたので安心したので、子どもたちの精神的な面から、そういう配慮をしてほしい。	教員の人的配置については、県所管となっています。元居た職員が統合後の学校に配置できるよう、市教育委員会として県に要望してまいります。
小系中学校区	統合により子どもたちに精神的な負担がかかると思われるので、バックアップをしてほしい。	また、事前の交流を実施し、円滑に学校生活
小系中学校区	統合はやむを得ないと思う。ただ、部活や修学旅行など子どもたちなりに不安に思う部分もある様子。統合後も学校に行くのが楽しいと思えるような取り組みにしてほしい。	が過ごせるような取り組みも進めてまいります。さらに、スクールカウンセラー、養護教諭、教育相談の担当を中心に、子どもたちが適応できるような配慮をしていきたいと考えます。
清和中学校区	統合準備室は、統合してから2年程度は継続して設置してもらいたい。	
清和中学校区	統合に際しては、子どもたちのケアのため、「はつらつ先生」のような補助をお願いしたい。	子どもたちが新たな学校生活を円滑に過ごすよう、人的支援について検討してまいります。
清和中学校区	不登校やいじめの問題は深刻である。そういった問題の解決にも取り組んでもらいたい。	現在各中学校にスクールカウンセラーが配置されていますが、関係諸機関と連携し、統合に関わらず取り組んでまいります。
複数中学校区	久留里小は現在1クラス15名ほどで、人数が増えるといじめも増える心配があるが。	
小櫃中学校区	統合によって集団の中で競わせることはいかかなものか。自我が芽生える前に競わせると落ちこぼれになる子がいる。落ちこぼれる子をどうケアしていくのか？	単に競い合いだけを求めるものではありません。一定規模の中で、学び合い、協力し合い、互いを認め合う中で切磋琢磨することを目指しております。集団の中での高め合いだけでなく、一人一人の能力（学力・体力）を伸ばすことは、規模に関係なく大切であると認識しております。
松丘中学校区	通学時間が長くなることによる学力や体力の面の低下が心配なので配慮してもらえるか？	個に応じた支援ができるよう、人的な配置など配慮していきたいと考えております。
亀山中学校区	統合したら1学年30人以上となるが、先生はみきれぬのか。坂畑と松丘程度の統合なら理解できるが。心のケアが心配。	

特色ある教育

中学校区	質問	市の見解
八重原中学校区	特色ある教育メニューで周南小・中学校を指定した理由は？モデル校としては他の地域が良いのではないかな。	これまで小・中の連携を図ってきた取り組みの実績があることや、比較的距離も近く、児童生徒の交流、教職員の連携が図りやすいことから考えました。
八重原中学校区	小中一貫教育のカリキュラムについて途中から6・3制の学校へ転校するとした場合差異は生じないか。	教育課程については、学習指導要領に基づいて行います。従って、各学年で学ぶ内容については、一貫校でない学校と差異は生じません。
周西中学校区	小中一貫教育になった学校に、途中から入った際、問題はないか。	
周南中学校区	君津市版の小中一貫教育校のカリキュラムはいつ頃できるのか。	現在、カリキュラム案の作成を進めており、平成28年度中には完成予定です。
周南中学校区	小中一貫教育校になった場合、入学式や卒業式などの行事はどうなるのか。	行事等の取組については、今後周南小学校と中学校で検討していくものとなります。
八重原中学校区	義務教育の中で特色あるメニューは、子どもによって「やりたい」「やりたくない」が想定されるが実現可能かどうか。	キャリア教育などのメニューは子どもが選択するものではなく、これから社会で生きていくために必要となる力を身につけることを目指しています。 内容としては、現在も各学校で取り組んでいるものもありますが、それをさらに一歩発展させた取り組みを考えております。
周西中学校区	コミュニティ・スクールは何を目指しているのか。	地域関係者が積極的に学校運営に参画し、地域とともにある学校づくりを目指すものであります。
複数中学校区	周西南中学校区の保護者から盛んに意見が出ているようには思わない。逆に地域コミュニティが最も醸成していない地域だと思う。コミュニティ・スクールを進めるのは難しいのではないかな。	1小1中であることや、地域団体の活動も盛んであると認識しております。また、コミュニティ・スクールの取り組みにより、地域コミュニティをさらに醸成することもできると考えております
清和中学校区	清和地区でも特色あるメニューを出して、進めていってほしい。	秋元小や三島小で行っている学習なども継承を図ってまいります。
清和中学校区	前回の説明会で、小中一貫について清和地区の現場の教員から意見があり、あれだけ賛同もあったのに、その意見はどこにいったのか。	先進校の調査から、小中一貫教育の課題は、人間関係の固定化が上げられています。単学級の場合は、効果よりも課題が大きくなることが予想され、学校規模と一貫教育とは別に分けて考える必要があると捉えております。
亀山中学校区	亀山・松丘で小中一貫はどうか。デメリットは。	
松丘中学校区	この上総・小櫃地区で小中一貫教育とする考えはあるのか？	

幼児教育・保育

中学校区	質問	市の見解
周西中学校区	人見保育園が認定こども園になったら、定員や規模、スペース等どうなるのか。	待機児童や人見保育園の需要に影響を与えない範囲で、現状の施設を有効に活用したいと考えております。

跡施設		
中学校区	質問	市の見解
八重原中学校区	学校の跡地はどうするか。	<p>学校施設は、市民にとって貴重な財産であり、有効に活用しなければならないと考えております。</p> <p>統合準備室において、地域の方々とともに、地域の活性化に資する利活用を考えていきたいと思っております。</p>
八重原中学校区	学校がなくなることは寂しいこと、活気がなくなる、と思われている。有効活用案がしっかりしていると安心するのではないかな。	
周西南中学校区	統合後の空き校舎の利用は。	
周西南中学校区	体育館や運動場などの活動の場が減っていく。そうした施設への配慮を。	
久留里中学校区	君津市では、やっとできた人口減少に対する中長期的プランであると思うが、最初に統合があるため不安を感じている住民がいる。耐震化をしてきた施設をどう利用していくか？	
松丘中学校区	学校は地域のよりどころであり地域活性の拠点である。地域が衰退しないように市全体の策として進めてもらいたい。	
亀山中学校区	跡地は、市と地域で相談しながら有効活用していきたい。香木原、蔵玉小の統合時は、特に説明会もなかった。	
小糸中学校区	H25年度から検討していたとのことだが、体育館の工事は無駄だったのではないかな。	<p>子どもたちの安全性の確保は重要であり、また国の強い指導もあり、本市でも耐震化を進めてきたところではあります。跡施設については、地域の住民福祉のために有効活用してまいりますので、ご理解ください。</p>

第2次プログラム		
中学校区	質問	市の見解
周南中学校区	周南地区の学区の再編は検討されていないと考えてよいのか。	現時点では再編の対象ではありませんが、通学区域の見直しという点については、今後検討していく予定です。
八重原中学校区	外箕輪小学校は第2次プログラムでどうなるのか。	<p>第1次プログラムの決定後、ある程度条件が整えば、第2次プログラムに取り掛かり、案を提示させていただきます。今回は複式の解消が急がれる中山間地域を中心に組みますが、第2次プログラムでは、適正規模を満たしていない中で、分離開校した学校について検討を進めていきます。</p> <p>また、第2次プログラム案の公表時にも説明会等を実施していく予定です。</p>
八重原中学校区	第2次プログラムはいつ頃になるのか。	
八重原中学校区	第2次プログラムで北子安小学校が統合となった場合どのように進んでいくか。	
周西中学校区	大和田で周西中学校区と周西南中学校区にまたがっている自治会がある。通学区域の見直しを早くしてほしい。	
周西中学校区	将来的に坂田小も統合対象になることが予想される。その場合のタイムスケジュールや手順、地域とのすりあわせをどうしていくのか伺いたい。	
小櫃中学校区	第2次プログラムで小櫃小はどうなるのか？	その様なことはありません。
八重原中学校区	北子安小学校の新入生を減らしていくような話を聞いた。	
周西中学校区	再統合する際、単純に学区を合わせるのではなく、通学の安全面等も考慮して状況に応じた、時代にあった学区の見直しをしてほしい。	分離した学校をそのまま元に戻すのではなく、児童生徒の安全確保、地域の実情などを踏まえて検討を行います。

その他		
中学校区	質問	市の見解
複数中学校区	「まずは、複式解消～」の【まずは】は、行く末は全ての学校を統合するのではないか。	その先の統合を考えた表現ではありません。プログラム内の「まずは」は削除いたします。適正規模には至りませんが、複式解消、地域に学校を残すという意味です。
久留里中学校区	統合案について、スケジュールの延期や内容の変更は可能か？	今年の秋頃を目処に決定してまいりたいと考えております。これまでいただいたご意見やアンケートなど全てを勘案し、総合的に判断をしてまいります。
複数中学校区	プログラムの決定までのスケジュールはどうなっているのか。	
複数中学校区	第1次実施プログラムの(案)がとれるのはいつか？	
清和中学校区	話し合いの中で意見が食い違うことがあった場合、案の決定時期がずれることはあるのか。案を変更するつもりはあるのか。	
久留里中学校区	この再編のプランが出る前に、学校施設の耐震化などがされている。なぜ中長期的なプランを早くもてなかったのか？	学校施設の耐震化については、東日本大震災をきっかけとし、いつ起こるか分からない震災に対するため、文部科学省からの強い指導もあり、優先して行ってきたところです。学校再編については平成25年度より取り組みを始めたところですが、今後の児童生徒数の推移を勘案し、適切に取り組んでまいります。
複数中学校区	7/28に新聞報道したことについて時期は適切だったのか。市民の多様な意見の吸い上げを十分行い時間をとってもらいたい。	市民全員に同時期に案を周知することを優先しました。噂のような形で広まることで、子どもや保護者に不安を与えると考え、報道後、すぐに説明会を行いました。決して既成事実化するものではありません。今回「案」として提示をしましたので、市民の皆様からのご意見も参考に案を練り上げていきます。
複数中学校区	新聞報道より先に説明会の必要があったと思う。既成事実化は良くないと感じた。	
亀山中学校区	前回の説明会で案が示されていたが、合意ないのにプレス発表は良くないのではないか。	
亀山中学校区	前回賛成しなかったのに、今回の新聞報道はだまし討ちと感じた。統合案は過疎化推進策だ。	
亀山中学校区	仕方のないことだと思い、これまで意見しなかった。今日出たのが亀山の意見の全てではないことは承知しておいてほしい。私みたいになちょっと黙ってるけど賛成かな？って感じの人もいるってことをやっぱり知ってほしいと思います。	地区説明会でも意見を発言できない方、参加できない方がいることは認識しております。これまで行ってきた説明会やパブリックコメント、アンケートなど全てのを総合的に勘案して判断をしてまいります。
小糸中学校区	これからは強い子どもを育てないと世の中良くなっていかない。自分の子どもも大きな学校に行って、良い経験をたくさんし、もまれる経験もした。勉強だけでは世の中わたくしに行けない。再編には良いことも、課題もたくさんあると思うが、課題はひとつひとつクリアしていき、良いことはもっと伸ばしていつてもらいたい。	生きる力を身に付けさせたいというのが、今回の学校再編の狙いの一つです。
清和中学校区	清和中の卓球部は2人しかいない。大きい小さいどっちが良いかということではなく、子どもたちが決めることではないか。実際、私立に流れている子がいる。清和中を維持するためには、清和中がもっともっと良くなると。学校、生徒、保護者もそうだと思う。その中で、少人数だとできないこと、小糸中と統合したらできるようになることも視野に入れたいと思った。	今回の案は、中学生はこれから高等学校そして社会へ出て行くことから、発達段階を考慮したものです。少し大きな規模の中で、学び合い、認め合う中で教育活動の幅を広げることを考えました。部活動も含め、活動の幅、子どもの選択肢が広がると考えます。

清和中学校区	対等な立場の統合ということで安心した。地元、郷土を愛して育てほしい。	今回の統合は、「活力あるうちに」「対等の立場で」行うもので、互いにこれまで行ってきた教育活動を尊重し、新しい学校づくりを目指してまいります。 また、その際には、それぞれの地域文化の継承も視野に入れ、取り組んでいきます。
清和中学校区	学校規模の大小に関係なく、対等な立場であるという認識（受け入れ側）や環境を整えてほしい。	すべての会場で同じ説明をしており、「対等な立場での統合」ということを説明しております。
複数中学校区	子どもの意見は聞いたのか。 子どもたちにもきちんと説明すべき。	基本的に教育環境は、様々な経験や知識を持ち、総合的に判断する必要があり、大人たちが責任を持って整備していく性格のものだと考えています。 しかしながら、子どもの意見も重要だと考え、合同生徒会において、各学校の代表生徒から意見をいただきました。 また、子どもたちには学校と連携しながら、適時説明をしていきます。 ※「合同生徒会における生徒の意見」については、市HPにて掲載します。
複数中学校区	大人の意見はよく聞くが、子どもの意見はどうか？	
清和中学校区	文科省の手引きには地域に配慮するようであるのに、この話はスピード感があり、急かされている感じがする。もっと時間がほしい。地区説明会もあいまいで終わっている印象を受ける。合同生徒会で説明した際の反応はどうだったのか。	
周西南中学校区	現場の先生方の意見をどのように集めていくのか？	
周西南中学校区	どのように反映されているのかわからない。地域と先生が話し合える場がほしい。先生方がどのような規模がよいか、先生方の意見を聞きたい。	有識者会議の委員に、学校の代表が入っております。また、教育委員会にも、学校運営を円滑に行うために教職員であった職員がおります。 今後再編を実施するにあたっては、先生方の意見も伺いながら進めていきます。
清和中学校区	統合に関して、意見をする場が少なく、自分たちの考えが反映されるか不安だ。	これまで、保護者アンケートや有識者会議、地区説明会など行っており、それら全ての意見を総合的に見て判断いたします。
清和中学校区	前回のパブリックコメントで寄せられた意見はどのように扱われたのか。	前回のパブリックコメントは、基本計画に対するものになります。清和地区から寄せられたものは、具体的な内容、実施プログラムに関する事なので、今回のプログラム案を作成するにあたり、参考にいたしました。
亀山中学校区	本日の意見を持ち帰り、検討してほしい。バスに乗り遅れたら、久留里線も減っているし、不安がいっぱい。	この地区説明会でいただいた意見、そしてこれまでいただいた様々な意見、アンケートをもとに案を練り上げ、総合的に判断をしてまいります。
亀山中学校区	今日出た意見はどうなるのか。代表者だけの意見で進めるのではなく、亀山自治会長にはみんなの意見を吸い上げてほしい。	

清和中学校区	スピード感についていけない。子どもたちもついていけない。時間は絶対にかかる。9月10月には決定しないという約束をしてほしい。清和から出て行った人が、清和に学校がなくなるなら戻らないと言っていた。地域のメリット、デメリットをふまえて進めてほしい。	<p>今回の再編で、地域の中でも話し合おうとする機運が高まってきていると感じております。地区説明会と同時に、パブリックコメントも行っております。</p> <p>また、ある程度人が集まっているところに、要請があれば再度意見交換に伺い、意見交換の場は多くしたいと考えます。</p> <p>学校の小規模化は着実に進んでおり、子どもたちにとってよりよい教育環境を整えるには、準備の時間も必要であることから、できるだけ早く判断することも必要であると考えています。</p>
周西南中学校区	子どもをどう育てていけばよいか、地域や保護者が話し合いができていない。話し合う場を、地域の中で増やしてほしい。	
清和中学校区	地域でもいろいろな考え方があり、検討をする時間が必要だと考える。また、意見を吸い上げる場を作ってもらいたい。	
清和中学校区	地区としての意見がまとまっていない。まとめる期間がほしい。	
清和中学校区	強引に進めることはないことが確認できた。要請しないと説明はしてくれないのか。説明はいつ頃までしてくれるのか。	
清和中学校区	何が正解なのかわからない。7月31日の清和での地区説明会の後、保護者有志66名で意見交換をした。そこで、多くの人がこのプログラム案に賛同していないことがわかった。これまでも、これからも、話し合いの場が少なく感じている。説明の機会、時間をもっと作ってほしい。	
清和中学校区	人数が多いと、参加しなくても良いという考えの者が出てくるのでは。中央教育審議会での適正規模に関する審議も中断している。まだまだ議論が必要だと思う。	
清和中学校区	中学校の統合で、小糸中・清和中ともになくなるということになると思うが、小糸の人はどう考えているのか。今後、準備室で様々な検討をするのだろうが、もっと時間がほしい。小糸と清和で合同の会議をしたらどうか。	
清和中学校区	久留里、松丘、亀山は地区説明会が1回しかないが、意図はあるか。中学校区で2回実施してもらえると良かった。	前回の説明会で、保護者や地域関係者など多くの方が参加出来るよう、昼と夜の部両方設けてほしいというところから、行政5地区にて、昼夜各1回の開催といたしました。また、中学校区も加味し、さらに追加で数箇所を実施することとしました。
清和中学校区	この学校再編を行うにあたって、子育てや地域振興なども関係しているので、他の部署などと会議も開き、いろいろな連携を取っていると思うが、どのような話し合いが行われているのか。さらに、それに対して教育長はどのような意見を持っているのか。	全小中学校を見て回り、少子化の影響を受けているなど感じております。市長部局との連携は大事であり、子育てというものは、教育・保育・医療等というものが多く関わってくるので、教育だけでやるものでないと考えます。総合教育会議でも市長から、地域づくりのためにも、第一に子どもたちのことを考え再編をしっかりやるようにと言われております。今後も全庁的に取り組んでまいります。

清和中学校区	清和はこれまでずっと人数が少なかった。それを否定するのか。	小規模校においても、その良さを最大限に発揮し子どもたちを育ててきたことは十分認識しております。 しかし、学校ではある一定の規模の集団の中で、学び合い、協力し合い、切磋琢磨していくことが必要であると考えております。小規模化はこれからもさらに進んでいくことが予測されており、再編に取り組みなければならないと考えます。
松丘中学校区	文部科学省の指針に基づいて統合を進めるのか。統合は、全国的に行われているのか。小中学校は、人間教育の場であり小規模の良さがある。	少子化を受けて、国から示された手引き及び法令を一つの基礎とし、地域の実情、人口減少の状況を踏まえて君津市独自の適正規模を打ち出しました。今回のプログラム案の内適正規模にならないところもありますが、地域の実情を考えた判断です。
小櫃中学校区	自分の経験上、(適正規模の)限度は1学年15人程度だと思う。適正規模とは何か、考える必要があると思う。	適正規模については、多様な価値観、仲間との関わり合い、様々な活動を可能にするには、ある程度の規模が必要だと考えます。
小糸中学校区	少人数の方が、学力も定着し、情緒面も安定しているデータもあるが、大人数の方が良いとする根拠はあるのか。実際、学級数が多い学校こそ苦しんでいるのでは。少子化の中で落ちこぼれをださない、丁寧に子どもを育てることを考えたら、データをきちんと見るべき。20人以上のクラスの方が優れているのか。そうであればデータを示して。	学力の捉え方にも様々あり、諸説あります。今回目指しているのは、学校ではある一定の規模の集団の中で、学び合い、協力し合い、切磋琢磨していくことが必要であると考えております。 現状では、あまりにも人数が少なくなり、複式学級になっている学校も存在している状況です。
複数学校区	適正化の考え方について	国は小・中学校ともに12～18学級を標準としています。しかし、本市の現状、地域性などを踏まえた上で、クラス替えができるということから、小学校は国と同じですが、中学校は6～18学級としました。
周西南中学校区	小櫃・上総での適正規模の考え方は。	さらに今回のプログラムは、発達段階および地域の実情に配慮し、小学校は地域に残し、中学校は少し大きな規模で切磋琢磨できることを考えました。
清和中学校区	適正規模について、学級数のことを言っていて、クラスの人数のことに触れられていないのが問題である。	クラスの人数は法律等で決まっており、それにより学級編成が行われています。
小糸中学校区	適正規模、適正配置とは何か。	一概に小規模はメリットがないとは言えませんが、課題もあります。例えば、極端に人数が少ないことで男女比に偏りが生じる場合もあります。学習や行事を行う際には、一定の人数がいることで、多様性の幅が広がります。小さな集団では得られない人間関係、人との繋がりもできやすくなります。
清和中学校区	清和はかなり前から1クラスで困っていなかった。今さら適正規模といわれてもよくわからない。	学校教育の中では、一定規模の集団の中で、学び合い、関わり合う中で、個々の力を伸ばしていくことが大切だと考えております。

小系中学校区	複式の課題は何か。	複式学級の課題は、2つの学年が一つの教室で学習することになり、指導にも特別な技能が必要になることや、準備が必要になることなどが挙げられます。また、教師の数が少ないことで学校運営上にも影響があり、そのことは子どもたちによりよい環境であるとは言えないと考えています。
小櫃中学校区	準備をしっかりとやってほしい。準備室の人間はどうするのか？どこまで声が反映されるのか。	学校と行政が主体となって運営していきます。構成者には、保護者、地域関係者に入ってください。地域の文化や通学のための危険箇所など地域の方でないとわからないことも多く、そのような点から構成者を選出したいと考えています。
小櫃中学校区	統合に大切なのは、実感として学校の質が上がる。学校には、特徴、長所・短所もある。検討委員会等で論議していくと思うが、学校の質を上げて地域に伝えていくことが大切だと思う。	子どもたちにとってよりよい環境を提供するだけでなく、教育活動を充実させることが必要だと考えております。そのために、統合準備室にて、市・学校・地域・保護者でよりよい方向性を見出していきたいと考えています。
周西南中学校区	子どもは競争して盛り上がる。協力して生きていくことを学ぶことが大切。教育改革をしっかりとやる視点が必要。	一定規模の中で関わり合い、その過程で、切磋琢磨することだけでなく、認め合い、協力し合うことも重要だと考えております。
久留里中学校区	部活動については、準備室で詳細を検討していくとのことだが、早めに設置していただきたい。	統合までの準備や統合後のよりよい教育活動を展開するために、プログラムの決定後速やかに統合準備室を設置して進めてまいります。
小系中学校区	統合に対して不安はあるが、それを解消するためにも準備室を早く設置し、意見交換できる場があると良いと思う。	
周西南中学校区	校歌はどうなる。	危機管理は大切であり、統合準備室においても検討してまいります。現在も、危機管理課を含め全庁的な協議をしながら進めております。
周南中学校区	上総松丘地域の学区が広がるが、災害等直接親に子どもを引き渡す必要が生じる想定も含め配慮してほしい。	
亀山中学校区	なぜ清和と小系の小学校を統合しないのか。適正規模に教育的根拠はない。久留里は学校と街が一体となっている。各校の文化を継承すると言うが、久留里の甲冑祭関係は学期を通して活動しているが、それをやめることはできないだろう。	それぞれが育んできた地域や学校の文化を融合し、よりよい教育活動が展開できるようにしていきたいと考えております。
久留里中学校区	事前の交流はどのようなことをするか？その時間はどのように確保するか？	教育課程の中で、授業や行事、部活動などを実施いたします。また、地域性を学ぶために、双方向の交流も視野に取り組んでいきたいと思っております。
小櫃中学校区	大きな学校でも、小さな学校でもいじめはある。小さすぎると私立の学校に入れる家庭もある。単学級だと人間関係が固定化してしまう。子どもたちにとっていろいろ選択肢があるほうがよい。準備をしっかりとやっていただきたい。子どもたちが楽しく夢を与えていけるようにしたい。新しいことをやるにはマイナスもある。しかし現状の規模の小さいままの方がよいというわけではない。	子どもたちにとってよりよい教育環境を目指し、学校・保護者・地域の皆様とともに、取り組んでいきたいと考えております。
小櫃中学校区	統合は致し方ないと思うが、子どもに安心感を与えられるように、大人が、PTAが、地域のなわばり意識もあると思うが、しっかりとやっていかないといけない。一緒になってよかったねと思われるようにしたい。	

複数学校区	統合が達成されたら教職員の数はどうなるのか。	教職員数は法令に基づき、統合された学校の学級数等に基づき措置されます。 なお、管理職等の数は減ることになります が、統合を円滑に進めるために、必要な職員定数について、県に要望してまいりたいと考えています。
小糸中学校区	財政的な理由で統合する、ということではないのか。	この学校再編は、「子どもたちにとって、よい教育環境を目指す」ものです。財政的な理由で行うものではありません。 市内の全ての学校で、質の高い教育を提供できるようにしたいと考えております。 スクールバスや校舎の改修など、必要な部分には費用をかけ、子どもの教育環境を整えてまいります。 また、教育環境の充実させ、市内どこに住んでいても等しく質の高い教育を行うことは、まちづくりにもなると考えます。 統合は学校だけの問題ではなく、地域振興に資する跡施設の利活用など市内一体となって対応してまいります。
小糸中学校区	統合によって財政的にどれだけ削減が見込まれるか、示してもらった方が良いでしょう。	
亀山中学校区	この再編に対して、統合した場合どれくらいお金が浮いて、スクールバスや施設改修にどれくらいお金が必要なのか。今回の案では、上総・清和地域にばかりお金を投資することになるが、人口が集中している君津地区の方が賛成するのか。君津地区も人口が減っており、市の財政的にも厳しい状況は予想される。そのような中で、この再編には財政部や経済部門など他の部署とも連携して、地域経済や子育てなど様々な観点から取り組む必要があると思う。	
小糸中学校区	統合によって、財政負担が増えるという聞き、がっかり。教員は県費だから関係ないという考え方もよくない。財政難なのだから、財政的なメリット、デメリットを数字で示したほうがよいのではないかと。	再編は、君津市の未来を担う子どもたちにとって、よりよい環境を目指すもので、必要なところに必要なお金をかけていきたいと考えています。 財政的なメリットデメリットについては、統合の方法によって費用に大きな差が出るため、現時点で示すことができませんが、あらゆるシミュレーションは行っているところです。
周西南中学校区	他の説明会、合同生徒会などでの意見等について、公表されているのか。今回のものは時間的に難しいのはわかっているが、第1次プログラムを作るにあたり、参考にしたい意見を知りたい。	他の会場でいただいた意見等については、現在集約しております。 基本計画、そして今回の実施プログラムの作成にあたっては、これまでいただいた様々な意見を参考にしております。 また有識者会議の意見は公開しておりますが、HPがみづらいという意見もいただいておりますので、今後わかりやすい公表方法を考えてまいります。
清和中学校区	進捗状況をHPでわかるようにしてもらいたい。	
小糸中学校区	先進事例のメリット、デメリットを示し、君津市はどうしていくのか、を示してもらわないと不安。	第2回の地区説明会においても、先進地の視察内容を紹介させていただいたところです。 ※市HPの学校再編推進課でお知らせしている第4回有識者会議の「第4回君津市学校再編有識者会議説明画面」に掲載しております。
八重原中学校区	有識者のメンバーはどなたか。	有識者は、全部で12名で構成されております。商工会議所、自治会、君津市校長会、教職員組合、特別支援学校PTA代表にお願いしています。また、市のホームページに掲載しております。
清和中学校区	第5回と6回の有識者会議の議事録がホームページにアップされていない。	確認して、できるだけ早く掲示いたします。 ※市HPにて掲載いたしました。
清和中学校区	有識者会議以外で、市役所内で行われている会議の内容は個人でも様子を知ることができるのか。	教育委員会会議や総合教育会議等は傍聴可能です。必要があれば関係資料の提供もできます。

清和中学校区	清和中の校舎は築年数が経ち、古くないか。	大規模改修済みで、建物としての性能は十分であると考えています。
松丘中学校区	久留里中学校に小学生が入ることについて施設の課題があると思う。	階段や水廻りなど、体格差などへ配慮し、必要な改修を実施していく予定です。
小櫃中学校区	学童保育について教えてほしい。 上総の子はどうするのか？久留里の学童に入るのか？福祉部とどのように話しが進んでいるのか？	子育での観点からも、保護者ニーズのある学童保育のあり方は重要と考えております。 統合準備室において、保護者、地域、学校と協議した上で、保健福祉部とも連携していきたいと考えております。
周西中学校区	大和田小と坂田小、それぞれ学童があり、それぞれ学校施設を活用している。統合した場合、それ以降も使わせてもらえるのか。準備の期間も必要であり、どうなるのかという不安もある。具体的に示してほしい。	
久留里中学校区	家庭の事情により、学童保育ではないが遅い時間までみてもらい、保護者が迎えにいけるよう考えていただきたい。	参考意見として今後検討させていただきます。
松丘中学校区	上総あけぼの保育園が出来たが、学校との関連はどうなるのか？また、他地域の保育園に流出しないだろうか？	保健福祉部と連携を図って対応してまいります。
小櫃中学校区	君津市も子育てのしやすい環境を作してほしい。	
八重原中学校区	市内の廃校式に参加してきた。過疎地域から君津地区への市内移動がおきているなか小学校がなくなった地域の過疎を進めないように、教育だけでなく市を挙げて地域の活性化をしてもらいたい。	定住促進を図るために、働く場を増やしたり、子育て環境を充実させなければならないと考えております。 また、地方創生を市として取り組み、人口増加策のため、企業誘致をおこなったり、コンシェルジュ制度を立ち上げたりするなどして、君津の魅力をPRしております。
小糸中学校区	中山間地域に人が入るための支援も行政で行ってほしい。	この学校再編は、子どもたちにとってよりよい教育環境を目指すものですが、教育環境を充実させることは、定住促進の一助にもなると考えております。
清和中学校区	人口減少にある地域なので、魅力ある学校を創り、対策の手立てとなるようにしてもらいたい。	
周西南中学校区	現在、人口は減少する傾向にあるが、君津市の魅力を伝え、人口を増加させる手立てをすればよいのではないか。木更津市は増えている。	
小櫃中学校区	久留里線の便数が減った。日中の本数が増えたほうがよい。	
小櫃中学校区	久留里線のダイヤ改正も視野に入れた働きかけを。	久留里線活性化プロジェクトがあり、菜の花プロジェクトを実施したり、君津青葉高校の生徒がアイデアを出したりしております。 地域の活性化は地域と共にやっていく必要があると認識しております。 庁内関係部署とも連携し、JRに働きかけを継続して行ってまいります。
周西南中学校区	スクールバスを出すと、久留里線の本数が減る。学校再編と同時に、地域もいろいろなアイデアをだして、盛り上げていかなくてはならない。地域の伝統や文化を守っていくことも大切である。	

清和中学校区	どこが主体となって学校再編を進めているのか。 まち・ひと・しごと創生の中の、地域の子を温かく見守ろうという活動と逆行していないか。他課と連携しているのか。	教育委員会が主体となって、全庁的に連携して、市全体で取り組んでおります。 地域で子どもを見守っていくことは、統合の有無に関わらず、今後も必要なことです。
清和中学校区	清和から学校がなくなることが地域にどう影響するかを考えているのか。	地域に配慮して、清和地区においては適正規模ではありませんが、小学校を残したところで
周西南中学校区	北子安小の借地料についていくらか	北子安小の借地料は年間約1,600万円です。市が基本的には土地を所有すべきだと考えておりますので、所有者とも交渉しております。
周西中学校区	資料の児童生徒数推移は、現在の学校での推移を示したものか。	お見込みのとおりです。
久留里中学校区	中学生には高校受験があるが、統合により内申点に影響が出るのか？	内申点は、担任の先生から確実に引継ぎを行い、記載していくため影響はありません。
八重原中学校区	調理場建設についてどうなっているのか。災害時の対応を考えて一箇所に集約するのではなく、君津市内に給食を提供できる場所があった方が分散されていた方が良いと思う。	各施設の老朽化に伴い新たな調理場の建設を計画しておりましたが、建設費の高騰により一時凍結しておりました。現在は、まもなく設計に着手しようという状況です。 安定し、安全に給食が提供できるよう務めてまいります。